

令和3年度 職員自己評価結果

4:十分できている 3:ほぼできている 2:やや不十分である 1:不十分である

1 保育の理念・目標・計画・評価

	内 容	4	3	2	1
1	法人理念、園の保育目標、保育方針を理解し説明できる	8.9%	66.7%	22.2%	2.2%
2	計画は理念や保育目標、方針に基づき、こどもの興味関心、これまでの生活や予想される生活等を考慮して作成している	20.6%	55.2%	24.2%	<u>0.0%</u>
3	計画や実践の振り返りを十分に行い、改善や充実を図っている	16.7%	60.0%	20.0%	<u>3.3%</u>

※計画の立案に際しては、計画がひとり歩きしないよう、クラスで話し合い振り返りを行った。
振り返りが十分できていないと感じる職員もあり、振り返りを次に活かすようにしていきたい。

2 保育の内容

	内 容	4	3	2	1
1	こどもの主体性が尊重される保育の展開が出来ている	19.4%	64.5%	16.1%	0.0%
2	こどもと温かなやりとりやスキンシップでコミュニケーションを図り信頼関係を築いている	45.7%	51.4%	2.9%	0.0%
3	禁止や命令の言葉を不必要に用いていない	26.5%	50.0%	23.5%	0.0%
4	身体的、精神的、情緒的発育等、多面的にこどもの状態を把握している	23.5%	61.8%	14.7%	0.0%
5	こどもの行動を不必要に急がせたり、自信を失わせるような態度はせず、安心感と自己肯定感を持てる言葉かけや対応をしている	17.6%	70.6%	11.8%	0.0%
6	安心して過ごせる安全で衛生的な環境を整えている	47.0%	53.0%	0.0%	0.0%
7	こどもたちがお互いに認め合い、尊重する心を育んでいかれるよう、人権や多様性に配慮した保育を心がけている	41.1%	56.0%	2.9%	0.0%

※こどものペースを尊重し見守りつつひとりひとりに応じた働きかけを心がけた。
自ら意欲的に自分らしく過ごせるように、環境を整えこどもの発想を大切にした。
褒めて褒めてできること、できたことに自信が持てるような関わりを持った、などこどもの気持ちに寄り添うよう心がけてきたが、全体の活動を優先させてしまうこともありそこに悩む姿もある。

3 給食の内容

	内 容	4	3	2	1
1	調理員、栄養士が保育内容を理解して、献立作成や食事の提供を行っている	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
2	調理員や栄養士の役割が明確になっている	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
3	乳幼児期の発育・発達に応じた食事の提供になっている	33.4%	66.6%	0.0%	0.0%
4	適切な食事提供を行っている	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
5	食事の様子を見て、こどもの発達や喫食状況を把握している	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
6	より良い食の提供ができるよう、担任と話しあったり、臨機応変な対応ができる	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
7	食育活動や行事について配慮している	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%

※離乳食、乳児食は個人差が大きいので、食事の様子を見たり担任と話し合いこどもに「とってよい食事環境になるよう努めた。
こどもの喫食状況を確認し、担任から話を聞き、改善に努めている。
積極的に食育への取り組みを行った。

4 組織・役割分担

	内 容	4	3	2	1
1	挨拶(こども、保護者、職員間)は笑顔で会った瞬間に自分からしている	71.5%	28.5%	0.0%	0.0%
2	上司や先輩、同僚からのアドバイスは素直に謙虚な姿勢で受け答えができています	39.0%	58.6%	2.4%	0.0%
3	伝達・報告を確実にし、情報の共有がしっかりとできています	21.5%	71.4%	7.1%	0.0%
4	締め切りのある仕事や、会議や打ち合わせの時間を守っている	34.2%	60.5%	5.3%	0.0%
5	当番や役割による仕事を理解し、責任を持ってやり遂げようとする	47.5%	50.0%	2.5%	0.0%
6	業務がスムーズに行えるよう協力したり、助けあっている	42.9%	54.8%	2.3%	0.0%
7	クラスに関係なく、その場にいた職員が適切な言葉掛けや対応をしている	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
8	専門知識や技術を身に着ける努力をしている。	17.5%	50.0%	52.5%	0.0%

※マスクをしているので、挨拶は明るく元気にと心がけた職員が多かった。伝達ミスがないよう工夫した。優先順位を考え仕事をし、職員同士声を掛け合い助けあった。
共通理解を持てるようクラス内で確認や話し合いを持ち、意見を言いやすい環境を作った。
「専門知識や技術を身に着ける努力をしている」が半数以上「やや不十分」となり課題である。

5 家庭・地域

	内 容	4	3	2	1
1	保護者に対して丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけ、信頼関係を得る努力をしている	42.5%	45.0%	12.5%	0.0%
2	保護者からの様々な訴えや要望、意見は主任園長に相談して真摯に対応している	38.7%	61.3%	0.0%	0.0%
3	保育情勢や福祉サービスに関心を持ち、保育所が社会に貢献できることは何かを考え、実践できる	13.5%	48.7%	37.8%	0.0%

※短い時間であってもこどもの様子を伝えるよう心掛けた。言葉遣いや態度は常に気をつけ接する努力をしているが、足りていないと感じている職員もいる。クラス内はもちろん主任園長に相談しよりよい対応を心がけている。
社会的な役割を担う保育園である自覚を持ち、学んでいく必要がある。

6 事務・管理

	内 容	4	3	2	1
1	必要な情報をわかりやすく記録できている	13.3%	70.0%	16.7%	0.0%
2	日誌や個人の記録や情報は、適切に記載し整理保管できている	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%
3	園内で知り得た事柄に対して、守秘義務は徹底できている	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%

※わかりやすく伝わる記録が書けるようにしていく。
個人情報管理は自覚を持ち行っている。

【令和3年度園の自己評価】

・2年目のコロナウイルス対応となり、感染対策を講じての行事開催や保育の工夫で子どもたちが楽しめるようにしました。安心安全な環境づくりのため、常に最新の情報を入手し迅速に対応しました。

子ども主体の保育の実践を心がけながらも「これでよいのだろうか」「大人の都合に合わせているのではないか」と考えることもあり、子どもの主体性を大切に実践することを皆で考えていきたいです。クラスで保育内容や振り返りなどひとりひとりが意見を持ち、話し合うことで共通理解が持てるようにしていきます。

保護者の気持ちに寄り添い、こどもの様子を伝えたり、気軽に相談できるような雰囲気を作っていきます。

職員ひとりひとりが課題を持ち、見合った研修の機会を取り入れたり、社会情勢、福祉情勢に意識を持ち社会福祉法人として何ができるかを考え、実践できるように学びの場の提供を行っていきます。

保護者アンケートでご意見をいただいた部分は、令和4年度に活かせるよう話し合っていきます。